

資機材庫の中身は？～資機材の説明取扱い訓練

資機材庫の中にはどのようなものがあるのか、取扱い訓練を兼ねて披露されてはどうでしょうか？

1 ねらい

資機材庫内の資機材の取扱い指導方法を説明します。防災福祉コミュニティのメンバー全員が指導できるようになることを目標にします。

2 必要スタッフ（参加人員30名程度の目安）

2名～（取扱い説明者）

3 必要なもの（参加人員30名程度の目安）

資機材庫内の資機材 1式



ちえぶくろ

防災資機材のうち、柄の長い救助資機材などでは、てこのように使うと少ない力で重いものを持ち上げることができます。

4 内容紹介（資機材の種類については、No. 7「資機材の種類」参照）

(1) 救助用資機材の指導要領

① つるはし・のこぎり・斧・スコップ・バール

あらゆる災害現場において、切る、削る、割る、掘る、押し上げるといった作業に使用します。

なた、のこぎり等の刃物についての受け渡しは手渡しとし、危害防止に注意してください。（無造作に地面などに置いておくと踏んだりして危険です）

斧、スコップ等の長い物は、付近の状況（人の位置）を充分確認した後、使用してください。特に後方に人がいないか注意しましょう。

各種救助用資機材



つるはし



のこぎり



斧



スコップ



バール

② ハンマー

ハンマーは、おもに金属、コンクリート等の砕き、打ち付け割り等の破壊作業に使用します。

重いものなので、女性や子供が使うには限界があります。

破壊活動中は防塵メガネ等を活用し目等の保護をしてください。

破壊活動中は周囲に人を近づけないでください。



③ ボルトクリッパー

ボルトクリッパーは災害現場において鉄線・針金の切断はもとより、電気漏電下でも電気コード・プロテクターの切断を行うことができます。

電気コード等を切断する際は帯電グローブを着用してください。

切断用途は銅線、アルミ線、軟線、硬鋼撚線等です。



④ ジャッキ(2 t 用)※写真・説明は油圧ジャッキ

ジャッキは、災害現場において、重要物の持ち上げ等の作業をおこなう器具です。

ジャッキは入るスペースがなかったら使用できません。バール等でスペースを確保した後に使用してください。

ゆっくりと使用し、限界に達したらそれ以上に油圧をかけないでください。

支持部が安定しない時は、あて木等の強固で安定した仲介物等を用いて使用してください。

横向きに使用した場合、限界荷重が50%~70%になります。

油圧を抜く時は、ゆっくりと操作すること、早く操作すると重量物は急激に降下しジャッキが破損する場合があります。(**重大な事故につながります!**)



(2) その他の資機材の指導要領

① 発動発電機

始動方法等については、説明書をよく確認し、いつでも使えるようにしましょう。また、燃料の残量なども確認しておきます。

定格出力は余裕を持って使用しましょう。

※定格出力 (VA) = 100 (V) × 使う物のアンペア (A)

(使用器具を確認してください)



② 折りたたみ式担架

固定時に指を挟まないように注意してください。



5 訓練の進め方

① 事前準備

斧、なた、のこぎり用に木材を用意します。

バール用に古タイヤかコンクリートブロック等、金ハンマー用にコンクリートブロック等を用意します。

活線ボルトクリッパー用に鉄線を用意します。ジャッキ用に朝礼台等を用意します。

② 事前説明

防災資機材庫の場所と地区内のどこに他の防災資機材庫があるのかを事前に説明します。

次に、資機材庫内のどこに防災資機材があるのかを説明します。

最後に、ブルーシートを敷き、その上に各防災資機材を並べます。

③ 訓練実施

用途に従って、切る、削る、割る、掘る、押し上げるといった作業を実演します。

参加者の皆さんに使ってもらいます。子供や女性には無理をさせないようにしましょう。

ちえぶくろ

取扱いを覚えると同時に、地区内のどこに防災資機材庫があるのか確認しましょう。



家庭内の大工道具も使えるかもしれません。確認してみましょう。
緊急時に使えるような資機材が地域内の工務店、機械工場などに置いているかもしれません。

いざという時に協力してもらえ体制作りを考えてみましょう。

資機材には日頃のメンテナンスが必要なものがあります。No. 33「資機材の管理」を参考に、いざという時に使えるようにしておきましょう。

阪神・淡路大震災。あの時私は。。

私は、阪神大震災のとき、倒壊した家屋にはさまれた親子の救出に向かいましたが、地盤が軟らかかったため、既存のバール・ジャッキがほとんど役に立たなかったという経験をしました。このため私たちの地域ではチェーンソーを購入し、防災訓練に取り入れています。

行政から分けていただいた防災資機材も大切なのですが、貴重な経験を基に何が必要であるかを地域で考え、整備し、普及していくことも必要ではないかと考えています。

中央区 ふれあいのまちづくり協議会 委員長のお話

家のまわりは安全ですか？

放火はこんなところに…

- 暗いところ、立て看板など、とっさに身を隠すものがあるところ。
- 路地の入り口付近、商店街の裏通り。
- 民家の軒下、離れや倉庫の裏付近。
- 物置、空き家など。
- アパート、マンションなどの階段付近。
- 駐車場・車庫。
- クリーンステーション。
- 郵便ポスト。
- 公衆電話ボックス。
- 自動販売機。

放火されないために

空き家・物置などの管理

- 空き家、物置、車庫などは鍵をかけ、破損している箇所は修理する。
- 外出や、就寝時には戸締りを確認する。

門灯や街灯をつけ明るくする

- 路地などの入口、商店街、アパート、マンションの階段付近などは、街灯をつけ、なるべく明るくする。

車・バイクなど

- 燃えるシートはかけない。
- 荷物を置いたままにしない。

クリーンステーション

- ダンボール、新聞紙など紙類は資源集団回収へ。
- 燃えるごみは指定袋で収集日の朝に出す。

隣近所の協力体制を万全に

- 隣近所で放火の防止について話し合いをする。
- 留守にするときは隣へひと声かける。

神戸市消防局